

平成22年度 音楽Ⅱの学習（シラバス）

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	音楽Ⅰ	単位数	2	履修学年・区分	第1学年
使用する教科書	MUSIC ATLAS (教育出版)				

2 学習目標

◎ 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。〔要するに、音楽的な能力（楽器の演奏とか歌を歌うこととか音楽を聴くこととか）を高め、音楽好きな生徒を育てましょう！ということです。〕

3 学習方法

- ① 高校での学習の基本は授業です。先生の話をよく聞く、積極的に音楽に取り組む、課題をきちんと提出する、これらのことを着実にこなせば、どんどん音楽の力はつきます。
 中学時代に音楽の授業が苦手、もしくは嫌いだった人もいます。歌が苦手、笛が苦手、音符読めないから嫌い・・・安心してください。本校の芸術の授業は音楽のみですので、様々な種類の音楽を行います。歌、リコーダー、鑑賞、楽典（音楽のルール）全てを初歩から行いますので、実技系が苦手な人は筆記系（楽典、鑑賞）を頑張れば大丈夫です。
 初めからあきらめずに意欲的に取り組みましょう。
- ② 演奏（歌唱）するにも鑑賞するにも「楽譜が読める」ことは重要な手がかりになります。楽譜を読めるように授業は進みますので、がんばりましょう。もちろん初歩の初歩から始めます。
- ③ アルトリコーダーを使用しますので、必ず用意してください。
- ④ 必要に応じて、実技テストと筆記テストを行います。実技テストは授業の中で、筆記テストは定期考査期間中に行います。実技テストが苦手な人は筆記テストを頑張る、筆記テストが苦手な人は実技テストを頑張る、両方苦手な人は、両方頑張るといようにすれば大丈夫です。

4 学習計画

学期	学習内容（単元名）	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	歌唱 鑑賞	日本の歌「Best Friend」 「島唄」 ドイツの歌「帰れソレントへ」 校歌 オペラ 「トゥーランドット」	・楽譜を読み、理解して、それぞれの楽曲の情景を思い浮かべながら表現（歌唱）できたか。 ・校歌を覚え、歌えたか。 ・オペラについて理解を深め、鑑賞の結果、その音楽的印象を文章で表現し、共有できたか。
第2学期	器楽（リコーダー） 鑑賞	1学年時に学習した基礎の上に、より難易度の高い楽曲を演奏したり、アンサンブルに挑戦したりします。 オペラ 「カルメン」	・楽譜を読み、理解し、楽曲を演奏できたか。 ・自分の役割を認識し、友人たちと表現を「合わせる」ことを楽しみ、主体的にアンサンブルできたか。 ・オペラについて理解を深め、鑑賞の結果、その音楽的印象を文章で表現し、共有できたか。

第 3 学 期	楽典	調性について、教科書、プリントを使用して学びます。 簡単な曲を作曲します。	・調性について理解できたか。 ・簡単な作曲ができたか。 ・学年末考査で作曲してもらいます。
------------------	----	----------------------------------------------	---------------------------------------------------------

5 学習評価

音楽の成績を評価するときに、最も重視されるのは日々の授業に取り組む姿勢です。

音楽は体育同様「実技教科」です。日々の授業で身に付けた力を試すためにテストをします。(笛の練習を普段の授業で一生懸命やらなかったら、笛のテストで良い結果は残らないですよ)

例えば、普段の授業で一生懸命苦手な笛の練習をしているけど、やっぱり笛は昔から苦手な人で、テストでは上手にできなかった、という人は、ちゃんと日々の努力を評価します。笛は得意だから普段の授業はサボってもテストでは上手にできる、という人も、ちゃんと日々の努力を評価して、成績は悪くつきません。筆記関係も同じです。

もちろん、私語をしていたり、出歩いたり等の授業のルールを守れない人は、はなしになりません。評価の対象外(要するに1)になります。